2026 年度 80 期・2 年生部員より

タイトル 「OB 会との関わり」

この夏は、OB 会の方々との関わりを強く感じる夏でした。激励会やプール祭りにとどまらず 77 期、78 期の皆さんが日頃の練習のときに何度も何度も泳ぎを教えに来てくださりました。忙しい大学生活の合間を縫って何度も教えに来てくれる先輩の姿を見て、自分たちがどれだけ応援されているか、どれだけ大事にしてもらっているのかを改めて感じました。今シーズンも残り少ないですが、個人が個人の課題に向き合うことをやめず、最後の新人戦で最高の結果を残せるよう努めます。最後になりますが、日々のご支援本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

2026 年度 81 期・1 年生部員より

タイトル 「水泳について」

私にとって、今までの水泳は運動習慣でした。練習や試合の頻度は控えめで、勉強や友人との遊びのニの次でした。しかし、天高水泳部に入って、その優先順位に変動が起こったのです。天高水泳部の部員、顧問の先生方の、水泳に対する熱量を肌で感じました。SNS のみならず、論文からも理論を取り入れている先輩や、初心者にも関わらず朝練と昼練に来る同期、毎日の練習で声を張上げて指導して下さる顧問。誰もが真剣に水泳に向き合うこの環境で、日々の練習を重ねていくうち、いつの間にか、水泳のことを考えない日はなくなりました。

肉体的にも精神的にも、ここまで消耗するスポーツは他にはないのではないでしょうか。そんな水泳を選択し、この頑張りに意味を持たせるためには、日々の練習で手を抜かず、「まだやれた」を残さないことの積み重ねだと思っています。OB 会の皆さんを始めとする、私達のことを応援してくれる人々への感謝を忘れず、とことん自分に向き合っていこうと思います。